

WG06  
運輸業界共通プラットフォームへのはじめての  
一歩からその先へ

2023.7.7 TDBC Forum 2023





# WG06参加メンバー（順不同）

## 事業者会員 14社

- 株式会社伊藤運送
- 株式会社合通ロジ
- 三興物流株式会社
- 株式会社新宮運送
- 株式会社セイリョウライン
- 谷口運送株式会社
- 長良通運株式会社
- 日鉄物流株式会社
- 野々市運輸機工株式会社
- 野原ホールディングス株式会社
- 阪神石油運送株式会社
- 日立建機ロジテック株式会社
- 富士陸送株式会社
- 丸和運輸株式会社

## サポート会員 28社

- アセンド株式会社
- アルプスアルパイン株式会社
- SCSK株式会社
- 京セラコミュニケーションシステム株式会社
- クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
- グローアップ社会保険労務士法人
- グローバルナレッジ株式会社
- 京滋ユアサ電機株式会社
- 株式会社サトー
- 株式会社GCAP
- ジスクソフト株式会社
- システムギア 株式会社
- 株式会社システムライフ
- 株式会社商工組合中央金庫

- センターフィールド株式会社
- 株式会社タイガー
- 株式会社DNPアイディーシステム
- 株式会社デンソーウェーブ
- 株式会社デンソーソリューション
- 豊田通商株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社パスコ
- 日野自動車株式会社
- 富士通株式会社
- 株式会社ブリヂストン
- 株式会社フルバック
- 株式会社両備システムズ
- ウイングアーク1st株式会社



# WG06の今期テーマ

2022

今ある情報を  
活かす連携

- ・ 1から始めるデータ活用
- ・ 大きなコストを掛けないにDX化

2021

受注処理  
の  
効率化

2018

先端技術による  
業務効率化

2020

システム間連携

2019

DXへの取り組み



# 今ある情報を活かす連携とは

こんなお悩みないですか？

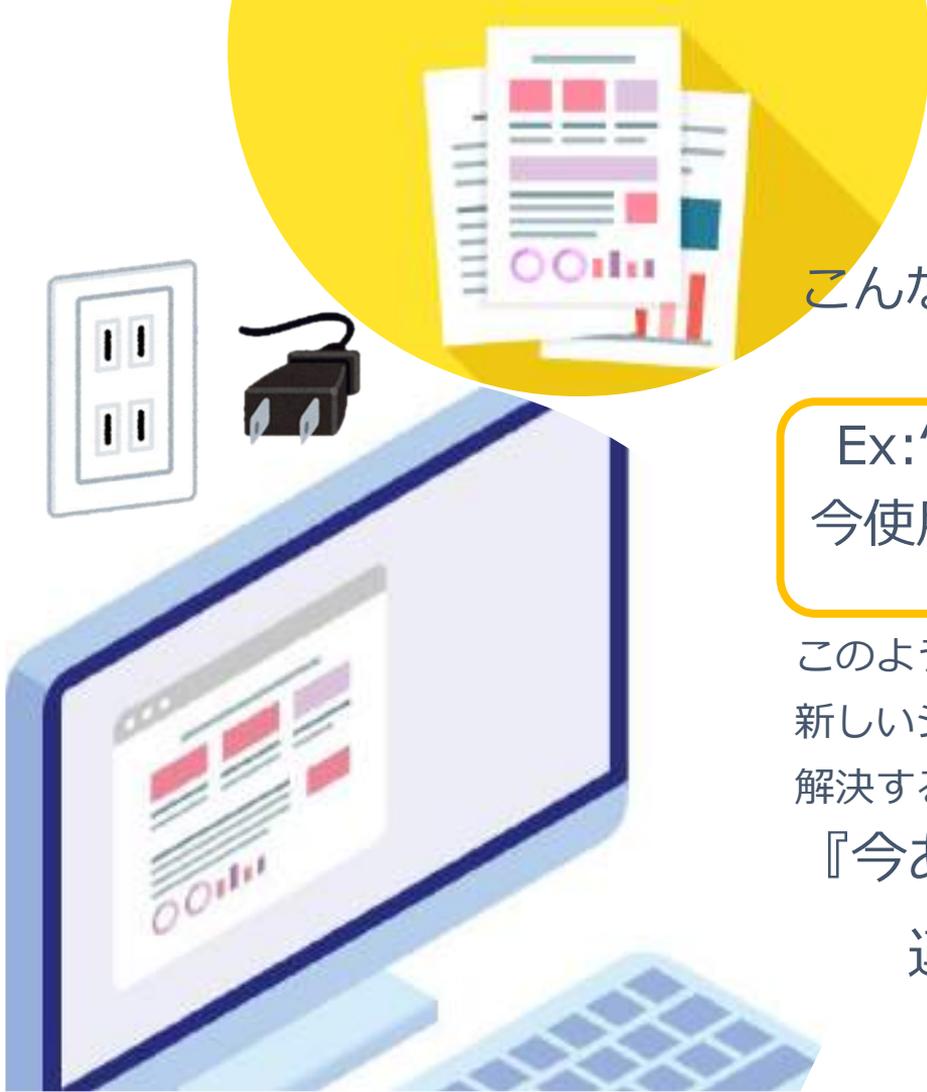


Ex:“新しい給与システムを導入したいけど、  
今使用している勤怠システムは連動が出来ない”

このようにシステム連携するために  
新しいシステムを導入しないといけない！という問題を  
解決するために、

『今あるシステムをそのまま使える連携』

連携=何でもつながる コンセント





# 実証実験前のアンケート

TDBC 事業者会員様向け  
利用システム調査アンケート

このアンケートは、TDBC 事業者会員様向けに実施されています。  
ご回答いただいた情報は、TDBC 事務局にて集約・分析を行い、今後のサービス改善に活用させていただきます。  
ご回答いただいた情報は、TDBC 事務局にて集約・分析を行い、今後のサービス改善に活用させていただきます。

※アンケートは、TDBC 事務局にて実施されています。  
※アンケートの結果は、TDBC 事務局にて集約・分析させていただきます。

ご回答ください

1. 貴社名をご記入ください

2. 貴社が現在利用しているシステムを複数選択してください

点呼/出勤管理  
 アルコールチェッカー  
 請求管理  
 デジタコ  
 配車  
 給与  
 その他

※システムごとの連携状況は、下記のとおりです。

## TDBC協議会より 事業者会員様向けにアンケートを実施

### <アンケート内容>

#### ●現在使用しているシステム

- ・点呼/出勤管理
- ・アルコールチェッカー
- ・請求管理
- ・会計
- ・デジタコ
- ・配車
- ・給与

#### ●お困りごと

各業務でシステム化できているが、

“連携は出来ていない。”

“できていても、

CSVの手作業になっている”



# 実証実験：汎用データ取込

コンセプト

“連携は出来ていない。”  
→まずは、安価に連携できないか！

The screenshot displays a data integration tool interface. On the left, a panel titled '取込先システム' (Destination System) lists various data fields with corresponding input boxes. On the right, a panel titled '取込みたいデータ' (Data to be Imported) lists data sources with checkboxes. A red arrow points from the '取込みたいデータ' panel to the '取込先システム' panel, indicating the mapping of data to the destination system.

汎用的にデータを指定のシステムと連携するために、  
一度「割付パターン」を設定することで、次回より取込みのみで連携を行う

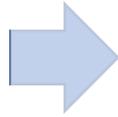


## 実証実験の流れ

目的：整備工場からの請求書を「車輛管理」を行う“JICONAX”と連携したい！



整備会社にて整備



請求書を紙で入手



手入力で車輛管理システムに入力



# 理論実証実験結果



一番星「運送業システムVer.8」の汎用データ取り込み機能を使用し、実験を行ったところ・・・

CSVフォーマット定義		システム名	新宮運送様向けJ
		CSV名	点検整備CSV
ファイル名	Maintenance.csv	区切り文字	5 20201202
ヘッダ行	不要	最大文字数	6 20201202
		改行コード	7 20201202
整備会社		文字列	8 49518 あ
			9 49537 か
			10 49537 か
車番		文字列	11 20201203
			12 49551 い
			13 49551 い
			14 49560 か
			15 49560 か
7 次回車検日	日付	yyyy/mm/dd 形式	16 20201205
8 走行距離	数字	カンマ、ピリオド、km 等	17 20201205
9			18 20201205
10			19 20201205
			20 20201205
			21 20201205
			22 20201205
			23 20201205
			24 20201205
			25 20201207

い 1245

8524 NPR85-70 403838

7043 CYL77V8- 1038438

7043 CYL77V8- 1038438

7211 FRR90-70: 901305

整備明細のセルが  
2つに分かれているものを  
1つの項目に取り込みが  
必要

整備明細にはないデータの  
取り込みが必要！

# 設定方法

The screenshot shows a web application interface for data import settings. At the top left, there is a tab labeled "活用データ取り込み" (Utilize Data Import) with a close button. Below this, there are two main sections: "ファイル種別" (File Type) and "アップロードファイル" (Upload File). The "ファイル種別" section has a dropdown menu currently set to "テキスト" (Text). The "アップロードファイル" section contains a large white box with the text "ここにExcel/CSVファイルをドロップしてください。" (Please drop your Excel/CSV files here.). To the right of this box is a plus sign icon and two buttons: "ファイルの並び順を変更する" (Change file order) and "ファイルの並び順を初期化する" (Reset file order). Below the main content area, there is a green bar with the text "取り込み結果" (Import Results).

活用データ取り込み

ファイル種別

テキスト

アップロードファイル

ここにExcel/CSVファイルをドロップしてください。

+

ファイルの並び順を変更する

ファイルの並び順を初期化する

アップロードファイルのレイアウトを戻す

取り込み結果







# 汎用データ取り込みができると

例えば

- 配車担当者がExcelで受注表を作成しているが、配車表も運行指示書も別で作成しており、2回以上同じような入力をしている。



翌日の受注表を作成する  
・電話やFAXを届き次第、随時書き込み  
【作業時間】  
@2分×50件=100分（1時間40分）

翌日の配車表を作成する  
・受注表の進捗とともに作業を行う  
・受注追加などで、配車修正も行う  
【作業時間】  
@5分×50件=250分（4時間10分）

翌日の運行指示書を作成する  
・確定した配車表を基に作成  
【作業時間】  
@2分×50件=100分（1時間40分）

トータル：7時間30分

**この時間を短縮させて、配車担当者には営業活動に専念できるようにしたい！！！！**





# 実証実験：Link Revo（API連携）

コンセプト

“連携できていても、CSVの手作業になっている”  
→API（自動連携）を簡単に行えないか



ノンプログラミングで、API連携を構築するため、システムカスタマイズに比べ、安価で早く導入できる。  
アイデア次第で、2つ以上のシステム連携も可能！



APIとは??



**API**とは、広義ではソフトウェアコンポーネント同士が互いに情報をやりとりするのに使用するインタフェースの仕様である。

**API**の重要な役割は、システム／サービス提供者が公式に仕様（**外部仕様**）を定義し、管理している各種機能を利用するための操作方法（インタフェース）を提供することである。**API**は多くの場合、アプリケーションを構築する言語と同じ言語のライブラリ、あるいは通信プロトコル形式として提供され、システム／サービス開発者によって提供・管理される。

（出典：Wikipedia）



# 実証実験内容

ご協力：アセンド(株)様/センターフィールド(株)様



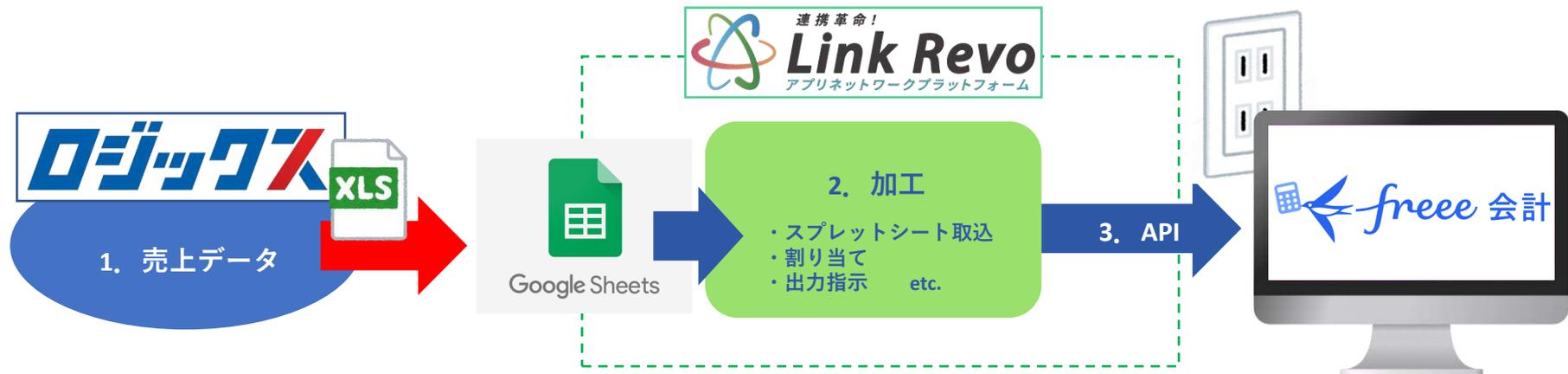
## 実証実験の流れ

目的：APIの連携ができていないシステム同士を連携したい！

★会計システム“free”の公開APIを利用して実験

【前提】

今回、API保有システムを使って実証できなかったため、APIのないシステムと仮想的に実験を行いました。

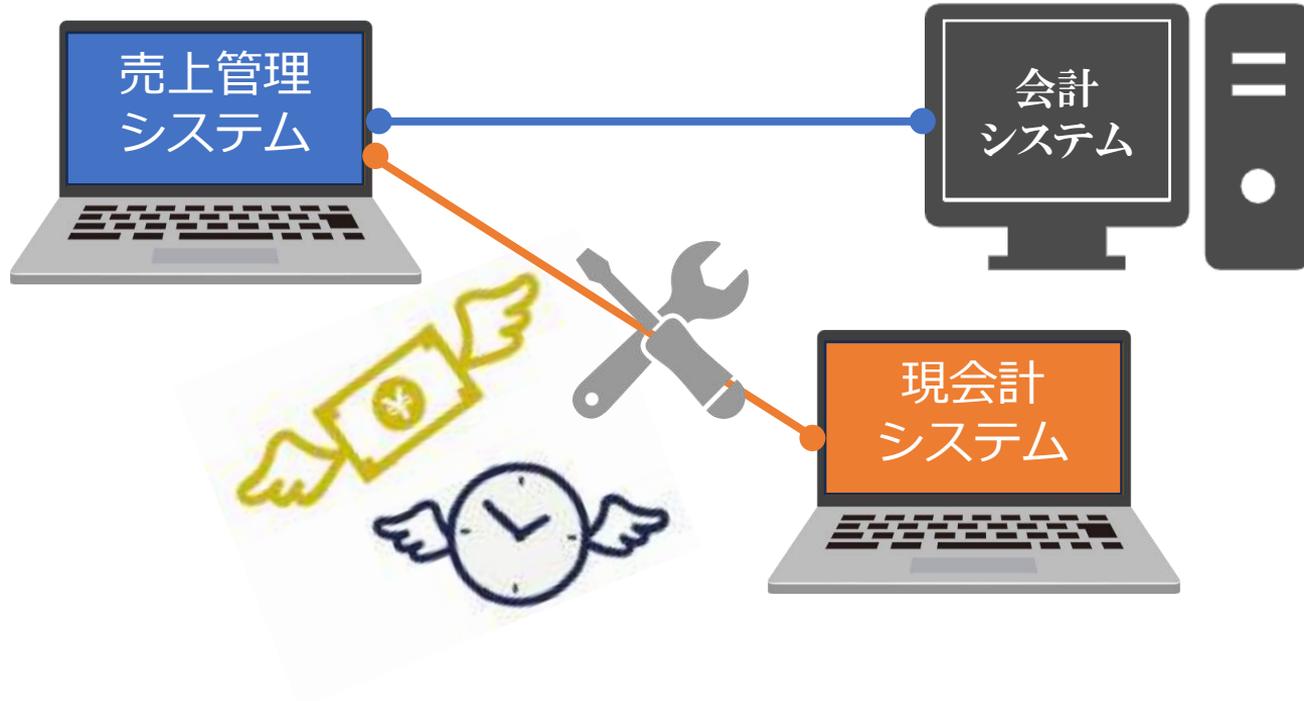




# Link RevoでのAPI連携ができると

例えば

- 売上データを会計システムと連携しているけど、会計システムを見直したい。  
ただ、売上データのシステムと新会計システムを連動するには、カスタマイズが必要。





1. APIをどちらのシステムも保有している場合：Link Revoの導入のみ
2. どちらか1つしか、APIを保有していない場合：**スプレッドシート変換後**にLink Revo連携



システムカスタマイズに比べ、**安価で早く**導入できる！

※システムメーカーが特定メーカーにしかAPIを公開しない場合もあります。



# 最後に：次年度に向けて



【共通のお悩み】

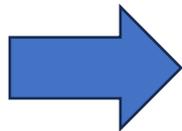
ドライバー不足

荷主交渉（運賃交渉）

<施策>

- 前提／
- ・2024年問題などの影響で、時間を削減しなくてはならないためドライバーの給与も減ってしまう可能性がある。
  - ・ドライバーの給与に影響があると、退職につながるケースもある。
  - ・給与の確保を保証するには、運賃の見直し（増額）が必要だ。

- 仮説／
- ・時間管理を行った場合のドライバー給与が現在とどれくらいギャップがあるのかが分かれば、未払い残業予測／運賃交渉の具体的な数字が導き出されるのではないか。
  - ・給与も含めた、原価管理が行えれば、より詳細な運賃交渉の具体的な数字が導き出されるのではないか。



運賃交渉により、給与の安定化を確保、時間管理の信頼性をアピールすることができるのでドライバーの確保にもつながるのではないか！



**実証実験にご協力いただける  
企業様を募集中！**



運輸事業者の課題をともに解決、共創による業界の発展へ

ご清聴ありがとうございました



- 一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
- <https://unyu.co/>
- [unyu.co@wingarc.com](mailto:unyu.co@wingarc.com)
- 03-5962-7370